

棧敷山

毎日新聞旅行

5日

棧敷山には2016年、2019年に続いて3回目である。別にこの山が好きだという訳でもない。8月の日帰りツアーがこれしか無かったということだけである。2016年の時はヤナギランの群落が見事であったが、前回も今回もほとんど見られなかった。それなりに高山植物はあったが、見事と表現できるほどではなかった。その代わりという訳ではないであろうが、アサギマダラが沢山いた。“せんべい平”というところにはアサギマダラの里という看板もあった。アサギマダラを撮ろうとみんな粘ったがやはり敵も動くので完璧にはとらえられなかった。

ツアーリーダーはFacebookの鬼の押田さんで、サブは元気印バーサマの戸村さん。最近彼らと顔を合わすことが多い。新宿の集合場所には3組くらいいたびのパーティーがいて、花岡さんや酒井さん、豊岡さんもいた。

メンバーはジジイが4人でババアが8人であった。3、4人がピークに行くのを回避したり、腹の調子が悪いと言って隊列を離れたりしていたので、こちらとしては楽であった。

コロナは相変わらずで、この日の東京は5,000人を超え、日本全国は15,000人を超えた。しかしこの日の帰りは道路渋滞がひどく、緊急事態宣言下でも人流を減らすことはできていない。いつまで続くかコロナ過よ。

棧敷山の頂上で押田さんがキヤリを披露してくれた。彼は下町育ちということで、キヤリの会に所属しているということだ。他に登山者がいないので、三々七拍子を含めて短めのやつをやってくれた。とにかく多彩な人だ。

